

みずほCustomer Desk Report 2017/08/15 号(As of 2017/08/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.43 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.26	1.1826	129.20	0.9629	1.3006	0.7904
SYD-NY High	109.80	1.1838	129.67	0.9733	1.3022	0.7919
SYD-NY Low	108.94	1.1770	128.68	0.9618	1.2957	0.7845
NY 5:00 PM	109.66	1.1780	129.20	0.9721	1.2963	0.7851
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.44/8.865		△25RR	1.198	Yen Call Over	
NY DOW	21,993.71	135.39	債券市場	日本2年債	-0.1090	▲0.2bp
NASDAQ	6,340.23	83.68		日本10年債	0.0580	▲0.5bp
S&P	2,465.84	24.52		米国2年債	1.3182	2.4bp
日経平均	19,537.10	▲192.64		米国5年債	1.7692	2.6bp
TOPIX	1,599.06	▲18.19		米国10年債	2.2185	3.0bp
シカゴ日経先物	19,600.00	190.00	為替市況	独10年債	0.4060	2.4bp
ロンドンFT	7,353.89	43.93		英10年債	1.0710	0.9bp
DAX	12,165.12	151.06		豪10年債	2.6180	3.0bp
ハンセン指数	27,250.23	366.72		USD/CNH	6.6900	0.0134
上海総合	3,237.36	28.82		ドルインデックス	93.41	0.34
USDJPY 3M Vol	9.06	▲0.56%	商品市況	CRB指数	177.506	▲2.10
USDJPY 6M Vol	9.24	▲0.47%		NY金	1,290.40	▲3.60
EURJPY 3M Vol	9.29	▲0.78%		WTI	47.59	▲1.23
EURJPY 6M Vol	9.60	▲0.66%		Dubai Spot	50.29	0.39

東京	朝方発表された本邦4-6月期GDP・速報は前期比+1.0%と市場予想を上回る結果となるも、直後のマーケットの反応は限定的となり、東京時間のドル円は109.26レベルでオープン。実需勢のドル買いブーム等から仲値にかけてじり高推移となり109.40付近まで上昇。その後発表された中国7月小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産はそれぞれ市場予想を下回るもドル円の反応は限定的となり動意に乏しい推移が継続。その後、マナス圏で推移していた日経平均株価が下落幅を縮小する動きに連れて、ドル円は一時109.64まで上昇。その後は特段の材料ない中、方向感に欠けるもみ合い推移となり、109.57レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	特段材料が見当たらず夏枯れ相場の中、ロンドン時間のドル円は109円台半ばから後半でレンジ推移。朝方は109.57レベルでオープン。米金利の小幅上昇と共にドルが買い戻され、これを受けドル円もつれ高となり、この日の高値となる109.80まで上昇。その後はみみ合いとなり、109.64レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは1.30台前半から1.29台半ばまで下落。朝方は1.3011レベルでオープンし、ドル買戻しを受けロンドンドルはつれ安となり、ロンドン安値となる1.2964まで下落し、1.2969レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルキー 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	週末に北朝鮮情勢に対する過度な警戒感が後退したことや、米金利がやや上昇する動きに海外市場で一時109.80まで戻したドル円は109.64レベルでNYオープン。目立った米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は米金利が低下する動きに109.43まで下落。午後は新規材料に掛ける中、109.70付近での推移が続き、109.66レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、ユーロ圏6月鉱工業生産が予想を下回ったこと等から海外市場でユーロ売りが優勢となり、上値を重くし1.1793レベルでNYオープン。朝方はユーロ円が短期的なストップを巻き込み下落する展開に、ユーロドルも1.1770まで下落。その後は下値を試す動きは継続せず、午後は1.1780付近での開散な推移が続き、1.1780レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月14日	8:50	日 GDP(前期比/前期比年率)・速報	2Q 1.0%/4.0%	0.6%/2.5%
	11:00	中 小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(年初来前年比)	7月 10.4%/8.3%/6.8%	10.5%/8.6%/6.9%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 -0.6%/2.6%	-0.5%/2.8%

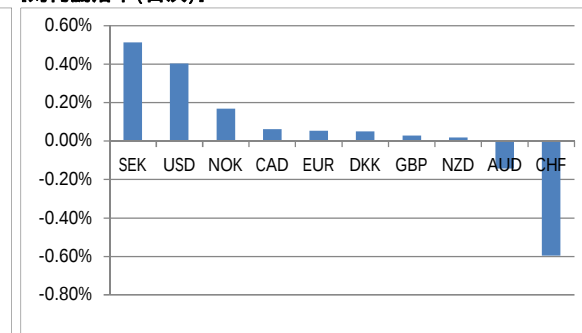
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月15日	10:30	豪 RBA議事要旨	-	-
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	6月 -/-	1.6%/4.9%
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	7月 0.0%/2.7%	0.0%/2.6%
	21:30	米 小売売上高(前月比)・速報	7月 0.3%	-0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-110.50	1.1700-1.1850	128.50-130.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は、北朝鮮リスクに関する懸念が和らぐ中、円高進行は一服し109円台後半まで値を戻す展開。ティラーソン米務長官やマティス国防長官が、軍事的な解決を目指していないことを説明したことに加え、北朝鮮サイドからも新たな材料が出なかったこと等から過度な懸念が後退した。チャート上は4ヵ月前、2ヵ月前につけた108円から109円のレンジ下限で一旦はボトムアウトしたように見えるものの、この先9月9日に北朝鮮の建国記念日を控えていること等から、有事を想定した円買いが再開する可能性は否定できず、引き続き上値の重い展開が想定される。